

## 平成28年度 第2回 平塚市バリアフリー推進協議会 議事録

日時：平成28年10月25日（火）14時～15時40分

場所：平塚市役所 本館7階 710会議室

### 議題

- (1) 平成28年度事業進捗状況について【資料1】
- (2) 生活交通改善事業（バリアフリー化設備等整備事業）事業評価について【資料2】
- (3) 「平塚市バリアフリー基本構想に基づく事業計画」の見直しについて【資料3】
- (4) その他

### 出席者

所 属	役 職	氏 名	
国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局	主席運輸企画 専門官	和田 喜則	(代理) 犬伏 達也
国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所 交通対策課	課長	吉池 正弘	
平塚警察署 交通第一課	課長	和田 正紀	(代理) 大場 英彰
神奈川県平塚土木事務所 工務部 道路維持課	課長	星名 隆	(代理) 戸田 浩司
平塚市老人クラブ連合会		森下 斉	
平塚市障がい者団体連合会		前田 美智子	
平塚市自治会連絡協議会		八田 厚生	
平塚市民生委員児童委員協議会		赤坂 寅幸	
平塚商工会議所	常議員	菅原 喜幸	
平塚市商店街連合会	会長	常盤 卓嗣	
平塚市社会福祉協議会		小林 立欣	
神奈川県立 平塚盲学校		鈴木 剛	
平塚市バリアフリー基本構想 策定時の公募委員		遠藤 和子	
		山上 徳行	

東日本旅客鉄道株式会社 横浜支社 総務部 企画室	副課長	磯嶋 雅彦	
神奈川中央交通株式会社 運輸計画部 計画課	課長	露木 輝久	
株式会社湘南神奈交バス 平塚営業所	所長	鈴木 清彦	(代理)市川 大祐
一般社団法人神奈川県タクシー協会 相模支部平塚地区会	事務局長	河原 貴治	
平塚市 まちづくり政策部	交通政策担当 部長	深沢 哲也	
平塚市 道路管理課	課長	磯村 正之	
平塚市 道路整備課	課長	武井 敬	
平塚市 みどり公園・水辺課	課長	石川 真人	
平塚市 総合公園課	課長	石川 清人	

【事務局】

所 属	氏 名
平塚市 交通政策課	熊澤 栄一
	曾我 生郎
	鈴木 岳央

( 1 ) 平成 2 8 年度事業進捗状況について【資料 1】

【資料 1】を用いて、事業ごとに補足説明等を行いながら、質問や意見交換。

公共交通特定事業

➤ 鉄道事業

【座長】

平塚駅北口バリアフリーについては、市としても積極的に進めていきたいというものであるが、「平塚駅北口バリアフリールート」の 3 者協議について補足願いたい。

【構成員】

3 者協議ということで、主体は平塚市都市整備課になる。ルートの設定、ハード的な検討を行っているが、ルート選定までは至っていない。24 時間利用できる南北を結ぶバリアフリー設備の整備に向けて継続して協議を行っている。

➤ バス事業

【座長】

利用環境の向上について、検討状況、見通しなど補足願いたい。

【構成員】

町田市、相模原市において、自治体と協働でバス運行情報案内板を整備している。IT化設備であるため、高額であるところがネックとなっているが、関係機関等のサポートがあれば、積極的に進めていきたいと考えている。

ノンステップバスの導入についての補足となるが、今年度の導入予定は、今月2両、年明け1, 2, 3月に10両で計18両の導入予定である。

➤ タクシー事業

【座長】

UDタクシーの導入の検討について、進捗にある福祉タクシーの導入について、UDタクシーの検討状況も含めて補足願いたい。

【構成員】

UDタクシーの導入に際して、代替導入であること、タクシーの減車の動きであることにより、新規導入について、各社進まない状況である。

相模中央交通での福祉タクシーについて、セダン型のタクシー車両で、後部左座席が回転しながら、外側にせり出す機能がある。ドアの開きも大きく、90度近くまで開くタクシーである。

【座長】

情報の共有、各社の連携の部分について、実施回数が少ないようであるが、見通しについて補足願いたい。

【構成員】

月1回の実施予定であったが、調整がつかず実施できていない。後半は調整して実施していきたい。また、地区会で、ららぽーと開業に合わせてタクシー乗場の打合せなど重点的に進めた。街頭指導は、西口北において、ポーターサービスなどを実施した。サービスについて、至らない点などあれば、検討して対応していきたい。

【座長】

公共交通に関して、何かあれば発言をお願いしたい。

(意見なし)

## 道路特定事業

### 〔国道・県道〕

#### 【座長】

国道・県道について、補足願いたい。

#### 【構成員】

県道 606 号歩道の段差改善について、現在発注準備中であるが、年度内には 370m 完成予定である。県道 608 号視覚障害者誘導用ブロック設置については、整備完了している。

#### 【構成員】

交差点部のバリアフリー化として、宮の前歩道橋であるが、記載のとおり協議中である。

### 〔市道〕

#### 【座長】

市道については、箇所が多いので事業期間を短期としている部分について、今後の関係団体との調整など補足願いたい。

#### 【構成員】

歩道の切り下げ改修について、民地との兼ね合いで、通常の解消方法では対応できない部分があり柵上げしている状況であるが、今後、商店街なども含めて解消方法の調整をしていきたい。

それ以外の短期設定している部分について、事業期間の最終年度であることは承知しているが、バリアフリー整備に活用している国の交付金も、要求したものをいただけしている訳ではないこともあり、積み残しとなっている現状である。今後、引き続き 29 年度以降も予算確保に努め、事業を進めていきたい。

#### 【座長】

道路事業に関して、何かあれば発言願いたい。

#### 【構成員】

国道 1 号の歩道橋について、検討状況はどうなのか。

#### 【構成員】

今回、ららぽーとが開業して車の流れが変わってくるので、その状況を見て検討していきたい。具体的には、車の台数を調査して、その結果、どうであるか平塚市と協議していく。

#### 【座長】

大規模な商業施設であるため、交通が集中して、周辺の交差点などに不具合が出ないか不安なところである。開業までの間、警察、事業者、市で協力して、渋滞が発生しないよう取り組んできたところである。

開業後の交通の状況を見ながら、宮の前のバリアフリー化について、国土交通省と相談して進めていきたいと市としても考えている。

【構成員】

市役所前交差点について、スクランブル方式にした方がよいのではないかと。足が遅いと横断歩道の半分くらいで点滅になってしまう。

【構成員】

スクランブル化の要望を受けているのも事実である。また、自動車の渋滞を解消して欲しいという要望を受けているのも事実である。そういった状況で検討した結果として現在の状況であること御理解願いたい。

【構成員】

理解はするが、現状スクランブル状態で渡っている方もかなりいる。

【構成員】

その状況を改善すべく、機会をみて「斜め横断をやめてください」といった指導を行っている。基本的には、一カ所の横断歩道しか渡れない設定となっている。

【構成員】

二カ所の横断歩道を渡ろうとして、途中で点滅になった訳ではない。もともとの設定時間が短いのではないかと。設定時間を延ばすことで、自動車の渋滞を招いてしまうならば、スクランブルにした方がよいのではないかと。

【構成員】

スクランブルにする場合、横断距離が一番長い所に合わせて時間を設定するので、歩行者信号の時間が現在よりも長くなる。

現在の歩行者時間設定は、高齢者や障がい者を考慮して、若干長めに設定している。この交差点の解決策は見つかっていないが、今後の検討課題としている。

【構成員】

市役所前から郵便局の方へ行けるように一方通行の解除を検討する話があったと思うが、進んでいるのか。

【構成員】

検討はしている。宮の前歩道橋の話の際も出たが、ららぽーとが開業して、全体の交通の流れが変わってきており、交通量も増えている。その実態を踏まえて、交差点の解析を行わないと、相互通行にできるかどうか言えない。現在、交通量調査等の準備をしている。

**【構成員】**

北口駅前広場と改札階を結ぶバリアフリールートの検討の話が先程出ていたが、以前から駅ビルが開店していない時間でも改札階へ行く方法の検討をお願いしていたが、進捗はどうか。

**【座長】**

先程、鉄道事業で、3者協議を行っている話であるが、何か補足があればお願いしたい。

**【構成員】**

こちらの内容については、7ページ その他の事業にある「平塚駅の移動円滑化」の事業にあたるが、最新の全ての情報を把握している訳では無いので、平塚市で何か情報があればお願いしたい。

**【事務局】**

最新の情報というものはないが、エレベーターを使って鉄道を利用するには、西口に24時間利用できるエレベーターが平成25年度に南北両側に整備されている。そのエレベーターを使い改札まで行き、改札からホームへのエレベーターも整備されている。

**【構成員】**

西口にエレベーターが整備されたが、バスを利用する人は北口で降りて、それから西口まで行かなければならない。車いすで西口まで移動するのは大変であるので、北口のエレベーターの早期整備をお願いしたい。

**【座長】**

北口のエレベーターについては、平塚市としてもJR、ラスカとも協議しながらバリアフリー化に向けて積極的に進めているところである。担当部局にも要望の声を伝えさせていただく。

**【構成員】**

北口から西口へ行く道路の歩道は、狭く切下げもあり、車いすで走りづらい。看板も歩道上に出ているので、西口に行きやすい整備をお願いしたい。

**【構成員】**

検討していきたい。

**都市公園特定事業**

**【座長】**

総合公園の駐車場改修に向け、その方策について検討を進めているとあるが、状況など補足願いたい。

**【構成員】**

未舗装部分の駐車場が3箇所あり、舗装していきたいと考えている。事業費もかかることから、民間の力を利用しながら改修する方策を検討している。再来年度中から

いに実施できるよう進めていきたい。

【座長】

湘南海岸公園では、「ひらつか海岸エリア魅力アップチャレンジ」が策定されているが補足願いたい。

【構成員】

海岸エリア全体の魅力アップの方向性を出したものである。各ゾーンごとに方向性に基づき検討している最中である。湘南海岸公園は湘南海岸公園エリアに含まれており、駐車場、トイレの改修、その他便益施設をどうしていくか検討しているところである。その決定により湘南海岸公園再整備計画を修正し、バリアフリーも進めていく予定である。

【座長】

都市公園特定事業に関して、何かあれば発言をお願いしたい。

(意見なし)

## 交通安全特定事業

【座長】

交通安全特定事業について、補足があれば説明願いたい。

【構成員】

交通安全施設の点検・補修については、管内全域において、随時点検補修を実施している。

今月は、違法駐車追放強化月間になっており、交通安全母の会と連携してパトロールを実施している。

一般企業に対して交通安全講話を実施する中で、高齢者の特性を理解いただき一般ドライバーが高齢者に配慮していただくようお願いしている。また、自治会など的高齢者が集まる会合に出向き、エアロビクスのような体操を行い、高齢者の健康増進を図り、増加傾向にある高齢者の事故を減らしていきたい。

【座長】

交通安全特定事業に関して、何かあれば発言をお願いしたい。

(意見なし)

その他の事業

【座長】

平塚駅の移動円滑化の中で、施設管理者との協議について補足願いたい。

【事務局】

現在1回の開催と予定より少ない状況である。目に見える進展が出ている状況ではないが、継続して協議を進めていきたい。年内にも次回協議を開催したい。

【座長】

ホームページにおけるバリアフリー情報の発信について見直しなど補足願いたい。

【事務局】

生活関連施設等の各ホームページにおける施設のバリアフリー情報を掲載いただくものである。みんなのトイレの設置状況やエレベーターの設置状況について情報発信をお願いしているが、ホームページの改修の作業が発生すること、デザイン構成などの問題もあり進んでいない状況である。今後は、市ホームページにおける、施設情報の発信について検討していきたいと考えている。

【座長】

バリアフリーマップ素案の検討に、関係団体と協議予定とあるが、具体的に説明を願いたい。

【事務局】

マップに盛り込む情報について、高齢者団体、障害者団体はじめ商店会も交えて検討していきたい。

【座長】

今後というのは今年度ということか。

【事務局】

そうである。

【座長】

その他の事業に関して、何かあれば発言をお願いしたい。

【構成員】

バリアフリーマップというのはどれくらいの大きさのものか。

【事務局】

紙の大きさとしては、A3を想定している。折りたたんで持ち歩けるものを考えている。



【座長】

全体を通して、何かあれば発言をお願いしたい。

(特になし)

事業者におきまして、様々な事情はありますが、引き続き継続してバリアフリーに取り組んでいただくことをよろしくをお願いしたい。

(2)生活交通改善事業(バリアフリー化設備等整備事業)事業評価について【資料2】

【資料2】を用いて、バス事業者がノンステップバス導入に伴う国の補助金活用において必要となる標記事業評価について、承認を得るものとして事務局から説明後、質問や意見交換。

【座長】

平成27年度にノンステップバスを12台導入する計画であったことについて、計画どおり実施されたかどうかを、本協議会で確認するということが。

【事務局】

そうである。

【座長】

資料の「事業評価」について、本協議会で承認し、国土交通省に提出することについて承認することよろしいか。

(異議なし)

(3)「平塚市バリアフリー基本構想に基づく事業計画」の見直しについて【資料3】

【資料3】を用いて、標記事業計画の見直しについて、事務局から説明後、質問や意見交換。

【座長】

見直しとあるが、見直しが前提ではなく、現在の計画で良いかどうかの検証である。技術的に難しい部分で、他の方法は無いかということも含めた検証である。

まず、スケジュールに関して、来年の5月までに意見集約をし、事務局と事業者で調整を行い、修正した計画案を10月までに作成する。その後も事業者と協議しながら平成30年4月に改訂案を諮るということであるが、スケジュールについて意見が

あれば発言をお願いしたい。

(意見なし)

スケジュールについては、了解いただいたという事で、次に進め方について意見があれば発言をお願いしたい。

**【構成員】**

現地調査について、2点確認したいのだが、資料の2【現地調査】(3)に点検ポイントとあるが、それは何を指すのか。(4)にある3月から実施している「行き先車外放送」とはどういったことなのか。

**【構成員】**

現地調査ポイントで4点の例が挙げられているが、その趣旨はどういうことか。また、見直しということであれば、この例示は違うのではないか。

**【事務局】**

1点目の「点検ポイント」という表現は、「現地調査ポイント」と同じことを指している。「点検ポイント」で対応とあるのは、例にある「行き先車外放送」では、現地で神奈中さんが車外放送について説明をいただくこと、「切下げ改修」では、市道路管理者が歩道のこの部分の勾配が課題であることについて説明いただくことを想定している。2点目の「H28.3 下旬から実施している、行き先車外放送」は、前回の本協議会で神奈中さんからの実績報告の中で実施し始めたと報告されたものである。

**【構成員】**

車外放送について、前回までの協議会でいろいろと発言させてもらっていた。「ICカードをタッチしてください」や「危険物の持ち込み～」の放送より先に、行き先を放送してほしいというものである。行き先を先に放送しているということで、乗りやすくなっていると思う。始発の場合では、お客さんを乗せて、すぐに発車する訳では無いので、それまでの間は少し心配である。

**【構成員】**

機械上の設定で、繰り返し5回までは大きな音量で放送することができる。その後は、アイドルストップしており、バッテリーの関係で音量が小さくなるとメーカーから聞いている。

**【構成員】**

点検項目として、始発の駅前は車外放送していることと思うが、途中のバス停はどうかを点検して欲しいと思う。できれば、途中のバス停を加えてもらいたい。

**【事務局】**

想定 of 4点を挙げた趣旨としては、バリアフリー事業が完了している部分も含めて確認していければと考えたものである。内方線付点状ブロックについては、実績報告で出ていたものであるが、実物を御存知ない方もいるのではないかとということと、昨

今のホームからの転落事故の報道もあって、実際に現地を確認できたらという考えからである。

**【構成員】**

点検することは問題ないのであるが、わざわざ皆さんが時間を割いて、事業計画の見直しという趣旨からすると、内方線付点状ブロックは既に設置しておりますし、今立て続けで2件、視覚障害者の方がホームから転落し、お亡くなりになるという痛ましい事故が発生しているので、そういった点検をこの時間軸で行うのは非常にのんびりしすぎていると思う。ある意味、点検や不備に関しては、要望があればすぐに対応しながら、不具合箇所を指摘いただければすぐに対応していきたいと思っているので、来年の5月に点検するというのは、非常にのんびりしていると思う。国が主催をして交通事業者を集めて、ホームドアの整備やホームからの転落事故をなくすための取り組みをやっているので、少しのんびり感がある。

バリアフリーの構想は構想で地道な点検をしていただいて、ホームの状況などはこの時間軸でなく、別の点検という形で整理した方が即効性もあるので良いと思う。

**【事務局】**

資料に挙げた4点は事務局としての案である。今後検討していきたい。

**【座長】**

少し誤解があるように感じる。見直しは、皆さんで策定した事業計画の内容は、最低限実施するものであり、それ以上の事業実施を妨げるものではない。見直しをしなければできないということではない。今、事務局が考えている見直しは、策定から2年経ち、上手く進んでいないことや追加した方が良いことがあれば、新たに位置付けたり、位置付けているものを修正したり、皆さんで協議しながら変えていくことである。緊急性のある部分については、計画に無くても対応していくことと理解できる。

**【構成員】**

年度が替わってメンバーが交代したら、また初めから話をしなければならなくなってしまう。そういった状況は事業を行う上でよろしくない。緊急性があるかも含めて、早めに今の状況を確認すべきである。来年の5月では遅すぎる。一度に全部はできなくても、できることからすべきである。

**【構成員】**

今年の8月下旬頃に、私の所属する協会では平塚駅の点検を実施した。1番線～4番線の端から端まで、JRの方も付き添っていただいて内方線付点状ブロックが設置されていることを確認している。後は、駅員の方や周囲の方が、白杖を持っている人や盲導犬を連れている人に対する声かけに取り組んでもらいたい。既に設置されているものなので、現地確認は来年の5月でも良いと思う。

公園通りなど、現地確認をして計画を修正することで問題が解消できるのか疑問である。勾配が急な部分を解消するには、車道を一方通行にして狭め、歩道を広げるなどしないと無理ではないかと思っている。こういった対策だとしても、費用はかかるものであり、費用の問題となると実施がいつになるか解らないことになる。本当に困

っている部分は、優先して進めるなどしてもらい、それ以外の部分は多少遅れても致し方ないといった協議・検討をした方が良い。

**【座長】**

今の事業計画は27年度から始まっている。二年目の途中という時点で見直しをするということについて、事業を進めながらしっかり考えてもらいたい。説明のあったスケジュールが遅いという部分については、事業計画にないものは実施しない訳では無く、事業計画にあるものしか実施しないという訳でもない。事業計画の有無に関わらず、必要な対応をしていくというのが事業者の考えであると思っている。

本当に困っている部分を短期で実施するといった計画修正について、今回の見直しの中で検討していけると考える。

**【構成員】**

今のような考えで賛成である。また、災害時のことも含めて追加検討いただけるとさらに助かる。

**【座長】**

バリアフリー基本構想を策定する段階で、生活関連経路を設定して各事業者が事業を進めている。その経路を追加するという考えは、バリアフリーの面から少し外れてしまうと考える。経路の中で、別の対策を検討することはできると考える。

**【座長】**

点検ポイントとは、調査ルートの中で現地確認する箇所・内容を指すもので、道路であれば「線」となってくる。「点」にこだわっている訳ではない。

見直しであれば、今後実施する箇所を確認すべきという意見があったが、実施済の箇所を事例確認することで共有していく部分である。

現地確認するには、今後実施する箇所と既に実施済の箇所とが混在することになる。

**【構成員】**

見直しということで、様々な切り口があると思うが、事業計画にある内容を修正することや、短期の設定で未着手のものについて、点検を行い優先度の検討をするのか、そのまま中期の設定にして良いのかといったことなどが考えられるが。

**【座長】**

資料にある点検ポイントは事務局のたたき台の案である。来年2月頃までの間で、そのポイントを照会していくことを考えている。確認したい箇所など意見をいただいた上で、点検ルートを考えていきたい。御意見のような内容についても、照会した際に出していただきたい。

【構成員】

資料の案に限らず、意見が出されたポイントを踏まえ検討し、29年4月に点検ルートを決定して、その中で事業計画の優先度などの修正も行うのか。

【座長】

事業計画全体で修正した方が良い点について、御意見を伺いたいことが一つ。その中でも、現地確認をした方が良くと思う箇所については2月頃までに御意見を出していただき、取りまとめの上点検ルートを検討していきたい。

【構成員】

前にも現地確認するという話があったかと思うが、みんなで現地を見ることは認識を共通にする上で重要であると考え。可能であれば、早めに一度現地を見た方が良くと思う。

【構成員】

特定経路は非常に広い範囲である。基本構想を作る際に、何班かに分かれて点検をしたことはある。案のルートは色々なものが確認できるルートであると考え。折角現地に出るのであれば、難しい課題がある部分をみんなで確認してどうするか検討した方が良く。

【座長】

様々な御意見をいただいた上で、点検する箇所を決めていきたいと考えている。

まちの点検については、基本構想の中に掲載されており、平成24年度に経路の決定に先立って、手分けしてまちの点検を実施している。

また、事業計画は平成26年度に作成されているが、その中で、平成29年度にまちの点検をし、事業計画の見直しを予定していたものである。

【構成員】

「見直し」という趣旨が理解できていない部分がある。時代の変化に合わせて、事業を追加するなどして、質を高めていくことは区切りを設けなくても協議会の場などで意見を出していくことで対応できると考える。

未着手の事業についても見直してしまうのか、「見直し」という言葉の定義がないので、漠然としてイメージがわからない。日々の生活の場で気付いた点なども、協議会の場などで議論していけると考える。現地確認から見直しまで、長い時間と労力をかけて行う予定だが、時代のニーズはゆっくりではない。そういった意味でもう少し議論をいただければと思う。

現場を見ることは非常に大切であると考え。実施済の部分を皆さんに紹介するというものと、不備なもの・困っているものをみんなで見るという点検というものとに分けてまち歩き点検をしたらわかりやすいと思う。

**【事務局】**

説明不足により、皆様それぞれのイメージが違ってしまっている中で様々な御意見をいただいている。「見直し」という言葉も含めて、はっきりとした区別をするなどして、皆様が同じイメージを持てるようなものを提示していきたい。

**【座長】**

「見直し」だとマイナーチェンジというイメージがあるのかもしれない。もう少し工夫して整理をするよう事務局にお願いします。

資料の整理・修正を行った上で、実現性も加味した前向きな事業計画の修正を行うため、事業計画の修正点や現地調査ポイントの照会をして、まちの点検をしていくという大きな流れで進めていくことを了解いただくことでよろしいか。

(異議なし)

意見照会を行い、いただいた意見等を反映し、来年度の取組みについて、しっかりまとめるよう事務局にお願いします。

(4) その他

**【事務局】**

次回協議会の予定日として、4月下旬で予定させていただきたい。会場の確保など日程が確定次第連絡するので、調整に協力願いたい。

**【座長】**

今後のスケジュールについて、意見照会などいつくらいになってくるのか。

**【事務局】**

来月中ごろには、意見照会をお出しできるのではないかと考えている。意見照会の際には御協力をお願いいたしたい。

以上